

(当社米国子会社デンカ・パフォーマンス・エラストマー社が2020年6月4日に発表したプレスリリースの参考和訳です。)

2020年6月8日

DPEの自発的な取り組みによる85%の排出削減達成をLDEQが承認

デンカ・パフォーマンス・エラストマー社(以下、DPE)はルイジアナ州環境品質局(LDEQ)と合意したクロロブレンモノマーの自発的な排出削減プログラムに取り組んできた結果、85%の削減を達成したことをLDEQより認められました。

DPEは従業員235名を超える、同社が所在するセント・ジョン・ザ・バプティスト郡において2番目に従業員数が多い拠点です。同拠点を取得した直後の2016年初めより自発的な排出量削減計画を策定し、2017年中に新たに複数の排出低減設備を導入するとともに、周辺機器の改善を行いました。2018年以降もこれらの排出低減設備の効率を最大限に高めながら、さらなる排出削減策を検討し、2019年にはLDEQとの合意内容以上の追加施策を実行しました。

DPEはクロロブレンモノマーの排出量85%削減を目標とする自発的な削減計画を策定し、2017年1月にLDEQと行政命令に係る同意書を締結しました。同意書に示された排出低減設備の導入およびその効率化にDPEは総額3,500万ドル(約40億円)以上を投資しております。この排出低減設備が年間を通じて最大限の効率を発揮したことを示す2019年の排出量報告書を踏まえて、削減目標が達成されたことがこの度LDEQにより認められました。

また、2017年に排出低減設備を導入後、DPEならびにアメリカ環境保護庁が実施したエア・モニタリング(大気中の物質濃度測定)では、DPE周辺の事業所で測定された化学物質の濃度も大幅に低下しています。

(Jorge Lavastida 工場長のコメント)

「DPEはセント・ジョン・ザ・バプティスト郡の良き隣人であることを大切にしています。LDEQとの自発的な排出量削減は、DPEが地域社会と共存していく上での取り組みのひとつです。」

以上

【参考：本発表に関する過去プレスリリース】

2020年2月14日「アメリカ環境保護庁におけるクロロブレンモノマー毒性評価の見直しについて」

https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/696/20200214_denka_statement.pdf

2019年6月19日「当社米国子会社における環境負荷低減の取り組みについて」

https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/621/20190619_statement_jp.pdf

【報道関係者からのお問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部

TEL：03-5290-5511